

# 紙のせんいで ちぎり絵を作る

しらべたいことがわかるような  
タイトルをつけよう。

年 組 名前 ( )

なまえをわすれずに書こう。

## きっかけ

どうしてしらべようと思ったのか、  
きっかけになったことを書こう。

紙を細かくバラバラにしてみたら、  
小さな糸のようなものが集まって  
できていることが分かった。  
いろいろな紙を細かくして、ちぎり絵を作ってみようと思った。



## じっけんのやり方

つけたものや、しらべるやり方を  
書こう。絵やしんもつかうと  
わかりやすいぞ。



お皿の中に水にのりをとかしたものをいれて、  
好きな色の紙をしばらくひたしてやわらかくする。  
紙がやわらかくなったら下じきの上のにせて、  
手や歯ブラシなどでそっとちぎっていく。  
ちぎった紙を画用紙の上にうつして絵をかく。

## けっか

じっけんのけっかだけを書く。  
表やグラフ、しんをつかうとわかりやすいぞ。



きれいなちぎり絵ができた。  
絵の上から水でといたのりをぬったら、  
紙ははがれなくなった。

## わかったこと

けっかからわかったこと、かんがえた  
ことを書く。よそうとちがったときは、  
どうしてそうなったのかかんがえてみよう。

紙は、小さな糸のようなせんいでできている。  
バラバラにしたせんいをはり合わせたら、  
新しい1まいの絵を作ることができる。

## まとめ

けっかとわかったことをまとめて、  
つぎにしらべてみたいことを書こう。

紙の色やしゅるいによって、せんいにちがいはあるのだろうか。  
いろいろなしゅるいの紙をバラバラにしてちぎり絵を作り、  
できあがった様子をくらべてみたい。